

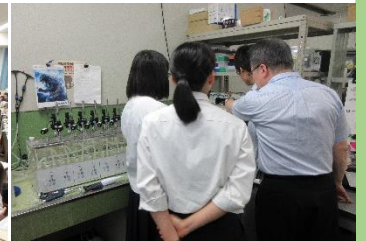
9月になり、猛暑も幾分和らぎましたが、依然として暑い日が続いています。熱中症や夏バテ予防を心掛け、体調管理に気を付けましょう。



オープンキャンパスが開催されました。

8月3日(金)に医学部医学科公開説明会(オープンキャンパス)が実施されました。参加者は約300人にのぼりました。まず、入試委員長の永野教授から入試の説明があり、参加者の皆さんは、皆、真剣に耳を傾けている様子でした。続いて、岡学長、谷澤医学部長のご挨拶の後、体験学習及び基盤系研究室見学へと移りました。体験学習は、分子細胞生理学講座、皮膚科学講座、麻酔・蘇生学講座で実施しました。参加者の多くは医学研究や臨床の現場の一端に触れるのは初めてで、とても興味を持って取り組んでいる様子でした。昼食後、附属病院施設のスライド紹介や在学生との懇談会を実施し、盛会のうちに終了しました。

参加者の皆さんにとって、今回のオープンキャンパスが山口大学医学部をよく知り、入学したいと思うきっかけになったのではないのでしょうか。



第50回日本医学教育学会大会に参加しました。

8月3, 4日に東京医科歯科大学で行われた第50回日本医学教育学会大会に出席しました。この学会は、全国の医学部、研修病院などから多数の教員・学生が参加していますが、山口大学からは、1年生の高齢者施設体験実習の現状、および5,6年生のクリニカルクラークシップの実習期間延長に関する調査検討について発表しました。そのほか、各セッションで情報を集めて回りましたが、学生評価(特に臨床実習)やキャリア教育に関係するセッションや演題、聴講者が多いように感じました。診療参加型臨床実習の充実化と十分な実習期間の確保が求められている中、どのように評価し、フィードバックさせるか、様々な取り組みを見ることができました。もちろん、それには相応の調整や手間が必要のようで、どこも少しずつ改善を積み重ねている状況のようです。また、ペーパーからオンラインへの転換も進んでいるようで、こちらも検討していかなければならないと思いました。キャリア教育についても、道を教えるのではなく、地図の見方やコンパスなどの道具の使い方を教えることにある、という理念や、多様なキャリア形成の実例など、参考になる話が数多く挙がっていました。

沖縄から来られた先生も「東京の方が暑い」と言われるくらい、猛暑の中での学会でしたが、いろいろ持ち帰ることができたと思います。どのように活用していくか、考えていかねばなりません。なお、来年は7月26(金)～27(土)に京都で行われる予定です。教員・学生の皆様も是非一度参加されてはいかがでしょうか。



第50回日本医学教育学会大会に参加した学生からの寄稿

医学科4年 石田 眞子

学生自治会長を務めさせて頂いております、医学科4年の石田眞子と申します。この度、全日本医学生自治会連合(以下、医学連)の一員として、医学教育学会に参加させて頂きました。医学連とは、医学部学生自治会の連合体のことであり、全国の医学生の声を集め、文部科学省、厚生労働省と交渉をして、医学生の要求実現に向けて活動している団体です。この度、本学会にて「医学生が抱える学業への不安の実態調査」と題し、演題発表をする機会を頂きました。学業に対して多くの医学生が不安を感じており、その要因にはカリキュラムの過密化や評価基準の不明確さなどがあるということが分かりました。各大学で医学教育改革を進めるなかで、教員と学生が協働し、学生が感じる不安に寄り添ってカリキュラムを見直していくことが必要である、と感じました。学会全体を通じて、各大学独自のプログラムのお話を伺うことが出来たり、医学教育に関わる先生方と意見交換したりと大変充実した2日間を過ごすことができました。山口大学は、来年JACMEによる医学教育分野別評価を受けますが、これを機に学生も先生方も医学教育について考えるきっかけとなれば、と思っております。

医学科6年 土肥 聖未

8月3, 4日に行われた「第50回日本医学教育学会大会」に、全日本医学生自治会連合(以下、医学連)の一員として昨年度に引き続き参加させていただきました。医学連は毎年、演題発表を行っており、今年度は医学生の学業に対する不安の実態について発表しております。医学連の一員として医学教育に関わる教員や学生とつながりを作ることを目標に、また自分自身の医学教育に対する視野を広げることも個人的な目標として2日間を過ごしました。2日間、様々な分科会を拝聴いただきましたが、授業の方法・評価法の分科会では、授業や実習を全て終えた身だからこそ、自分自身の経験と照らし合わせながら考えることができ、とても興味深かったです。中でも印象的だった分科会は、「キャリアプラン」に関するものです。キャリア・アドバイザーという観点からのキャリアデザインを聞き、今までのキャリアに対する考え方が変わりました。演題者の先生に分科会后、直接お話を伺うこともでき、興味があることに対してより深く学ぶこともできました。また、多くの学生が参加しており、その学生達とポスター発表の内容や、自大学のことなどを話す中で、各大学の医学教育の状況などを共有することができました。医学連の活動の一環として、2年間医学教育学会に参加させて頂きましたが、多くの先生方・学生と話をすることで、知識が増えたり、新しい視点で物事を考えられるようになったりと、とても楽しかったです。このような機会を与えてくれた医学連にはとても感謝していますし、自分が関わることで何か役に立てていければ、とも思っています。今まで得た学びを生かし、将来的にも医学教育に関わっていきたいです。



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp